

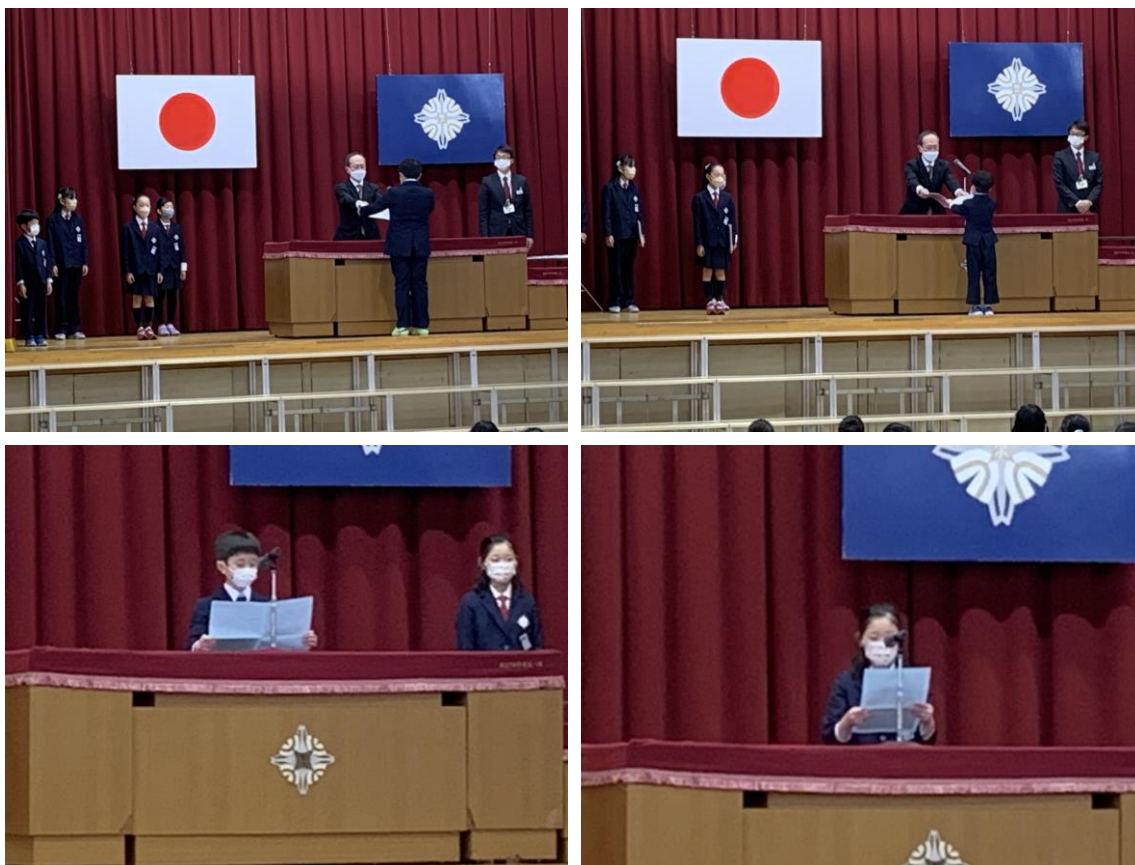
修了式・離任式（3月24日）

各学年200日余りを数えた学校生活の一区切り「修了式」を迎えました。

今年度は、久しぶりに体育館に子供たちが集まり、みんなで顔を合わせて式を実施することができました。



1～5年生の各代表が修了証書を受け取りました。また、2年生・3年生の代表が「1年間の反省と進級への抱負」を堂々と発表しました。



1年生が初めて登校した日のことを思い出します。今日の1年生は、仲間の様子を見守ろうとする眼差しや校長先生や上級生の大事な言葉を聞き取ろうとする態度が一人一人の姿勢に表れていました。「姿勢を立派にすることそのもの」がめあてだったあの頃から比べると、それはもう「自然で当たり前な姿」になったのですね。



1年生は、初めての全校で集合しての「式」みんなで気持ちを整えて臨む様子です。

離任式では、先生方・職員の方々とのお別れがありました。だれとでも、ずっと一緒に過ごせるわけではないからこそ、今一緒に過ごしている仲間や先生方との時間が大切なものであることがわかります。



お別れを惜しむ子供たちの姿も・・・



新年度、新たな出会いに胸を弾ませて登校してくる子供たちの姿を楽しみにしています。義務教育学校2年目を迎えた今年度、「ポストコロナ」の行事や活動のあり方を模索する中で、保護者の皆様には力強い支えをいただきました。1年間のご理解・ご協力と温かい励まし、ありがとうございました。

学長表彰（3月22日）

前回欠席した児童の表彰の様子です。

おめでとうございます！



1年間、小欄にお付き合いいただきましてありがとうございました。また次年度、子供たちの姿とともに目にかかれることを楽しみにしております。